

科目名	地域医療薬剤学特論	選択	1単位
-----	-----------	----	-----

◎責任教員

担当教員	◎教授 齋藤 百枝美 教授 下平 秀夫、准教授 丸山 桂司、講師 安藤 崇仁						
------	---	--	--	--	--	--	--

開講年度	2020年度	配当年次	1～4年	配当学期	後期	授業方法	講義
------	--------	------	------	------	----	------	----

授業の概要	エビデンスに基づく医薬品等の適正使用に関する研究を通し、地域医療に真に貢献し得る薬剤師の育成を目指す。在宅医療におけるチーム医療の中で薬剤師としての専門性を発揮するための方策について理解する。また、薬薬連携や社会福祉を理解し、患者のQOLの向上など、地域社会での薬剤師の果たすべき役割について理解する。さらに、児童に対する薬の正しい使い方教育・薬物乱用防止教育、疾病教育などを通して、疾病の予防活動における薬剤師の専門性を深める。
-------	---

授業の到達目標	地域医療に真に貢献し得る薬剤師の育成を目指す。
---------	-------------------------

授業計画	回数	担当者	行動目標
	1	齋藤 百枝美 教授	【服薬自己管理モジュール】 認知行動療法と社会的学習理論に基づく服薬自己管理モジュールについて説明できる。
	2	齋藤 百枝美 教授	【タバコの害と禁煙指導】 認知行動療法、動機付け面接法を用いた禁煙指導を説明できる。
	3	丸山 桂司 准教授	【プレアボイド事例】 医薬品の適正使用の推進と患者の安全確保について説明できる。
	4	丸山 桂司 准教授	【地域薬局とEBM】 かかりつけ薬剤師がEBMを実践する重要性について説明できる。
	5	下平 秀夫 教授	【医療政策と地域の薬剤師】 薬剤師として地域福祉に貢献するため、医療政策と地域の薬剤師の役割について討議する。
	6	下平 秀夫 教授	【医療ニュースの解説】 薬剤師として社会に貢献するために、現在の医療の課題を各種報道から収集し、適切に評価・説明できる。
	7	安藤 崇仁 講師	【歯科薬物療法】 使用可能薬剤に制限のある歯科外来診療における薬物治療の問題点について説明できる。
	8	安藤 崇仁 講師	【医療従事者の地域偏在】 医療従事者の地域的偏在の現状について説明できる。

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	地域医療について関心を深めるために、新聞やインターネットで地域医療に関する情報を調べておいてください。 事前学修：前回の授業内容（プリント等）を復習し、用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：授業中の疑問点をまとめ、プリント等を利用し、次回の授業までに解決しておくこと。 当該期間に30時間程度の予復習が必要となります。
----------------------	---

教科書	なし
-----	----

参考書	禁煙学（改訂3版、日本禁煙学会、南山堂）、医薬品情報評価学（京都廣川書店）
-----	---------------------------------------

成績評価の方法および基準	出席率50% レポート50%として評価します。
--------------	-------------------------

その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行います。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解してください。
-------------	---